

第 39.回 日本鼻科学会 (平成 12 年 9 月 28 日・29 日・30 日)				
会長 古川 侃 (金沢大)				
特別講演およびそれに準ずる講演	シンポジウム	パネル	テーマ指定演題	一般演題数 (テーマ指定演題を含む)
<p>モーニングカンファレンス</p> <p>「鼻アレルギーの基礎と臨床 21 世紀に向けて」</p> <p>司会 齋藤 等 (福井医大) 岡本 美孝 (山梨医大)</p> <p>1. 肥満細胞と鼻アレルギー: 基礎と臨床 Pawankar R (日本医大)</p> <p>2. IgE と鼻アレルギー: 基礎と臨床 藤枝 重治 (福井医大)</p> <p>3. 鼻粘膜過敏性成立と好酸球性炎症 との関連に対する賛否両論 寺田 修久 (千葉大)</p> <p>ランチョンセミナー I</p> <p>司会 山下 公一 (金沢医大)</p> <p>“Powered instrumentation and intra-operative image-guidance in ESS” Daniel G. Becker (University of Pennsylvania)</p> <p>第 7 回日本鼻科学会賞受賞記念講演</p> <p>司会 今野 昭義 (千葉大)</p> <p>「抗原内糖鎖の鼻アレルギー-炎症誘導作用」 岡野 光博 (岡山大)</p> <p>招待講演</p> <p>司会 茂木 五郎 (大分医大)</p> <p>“The roles of inflammatory cytokines and bacterial toxins in rhinosinusitis.” Yang-Gi Min (Seoul National University)</p>	<p>サテライトシンポジウム</p> <p>「副鼻腔炎の効果的な保存的療法」</p> <p>司会 大山 勝 (大島郡医師会病院)</p> <p>1. 小児副鼻腔炎に対するマクロライド少量長期大量療法 吉崎 智一 (金沢大)</p> <p>2. YAMIK カテーテル治療とマクロライド療法 松根 影志 (鹿児島大)</p> <p>3. 小児副鼻腔炎に対する保存的療法の比較検討 原田 輝彦 (三重大)</p> <p>4. 慢性副鼻腔炎に対するマクロライド療法の効果 朝比奈紀彦 (昭和大)</p> <p>5. 薬物療法について 福島 典之 (広島大)</p> <p>特別発言</p> <p>「幼小児副鼻腔炎の治療 調 賢哉 (大分市)</p> <p>シンポジウム 1</p> <p>「静脈性嗅覚検査の基礎と臨床」</p> <p>司会 加藤 寿彦 (福岡大)</p> <p>1. 脳波高周波成分から静脈性嗅覚を他覚的に評価できるか 石丸 正 (金沢大)</p> <p>2. 静脈性嗅覚刺激による脳波変動 原田 博文 (福岡大)</p> <p>3. アリナミン静注刺激を用いた Functional MRI 肥塚 泉 (聖マリ大)</p> <p>4. 静脈性嗅覚検査の基礎 調所 廣之 (関東労災)</p> <p>5. 静脈性嗅覚検査の臨床</p>			200 題

<p>モーニングセミナー</p> <p>1. 乳幼児鼻咽腔からの検出菌について 伊藤 真人 (金沢大)</p> <p>2. 副鼻腔炎に対するネブライザー療法 石塚 洋一 (帝京大溝口)</p> <p>ランcheonセミナーⅡ</p> <p>「慢性副鼻腔炎とアレルギー」 司会 奥田 稔 (日本臨床アレルギー研究所)</p> <p>1. アレルギー性副鼻腔炎の概念と診断 鮫島 靖浩 (熊本大)</p> <p>2. アレルギー性および非アレルギー性鼻炎の治療 鈴木 秀明 (国立仙台)</p>	<p>治療予後の判定と喉頭摘出患者での検査からわかること 深澤啓二郎 (兵庫医大)</p> <p>シンポジウム2</p> <p>「鼻副鼻腔領域におけるナビゲーションナビゲーション」 司会 森山 寛 (慈恵医大)</p> <p>1. 友田 幸一 (金沢医大)</p> <p>2. 三輪 高喜 (金沢大)</p> <p>3. 三沢 逸人 (名 大)</p> <p>4. 鴻 信義 (慈恵医大)</p> <p>特別発言 Daniel G. Becker (University of Pennsylvania)</p>			
---	--	--	--	--